

千葉県公共施設等総合管理計画 新旧対照表

改定案	現行
<p>第3章 庁舎・学校等の施設に係る基本的な考え方と取組方針</p> <p>1 基本的な考え方 (略)</p> <p>2 施設管理の適正化に向けた取組方針 (略)</p> <p>(1) 点検・診断・維持管理等の適正化 (略)</p> <p>(2) 施設の長寿命化の推進</p> <p>(3) 防災基盤の整備 (略)</p> <p>(4) 環境負荷の低減</p> <p><u>○ 省エネルギー対策や再生可能エネルギー設備の導入を推進し、環境負荷の低減を図る。</u></p> <p><u>国及び県が目標に掲げる脱炭素社会の実現に向け、県自らが、その事務及び事業に関し、地球温暖化対策として、温室効果ガスの排出削減等に向けた取組を推進していくことが求められている。</u></p> <p><u>このため、「千葉県庁エコオフィスプラン」に基づき、省エネルギー対策を徹底するとともに、太陽光発電設備をはじめとした再生可能エネルギー設備の導入等を推進し、施設の環境負荷の低減を図る。</u></p> <p>(5) ユニバーサルデザイン¹⁵化の推進方針 (略)</p> <p>(6) 保全業務支援体制の構築 (略)</p> <p>(7) 施設の運営管理の適正化</p> <p>○ ベンチマーキング等を活用した運営管理コストの縮減を検討する。 ○ 省エネルギー機器の導入を検討する。 ○ PPP/PFI など民間活力の幅広い活用を検討する。</p> <p>施設の運営管理に係るコストを把握し、事業効果を評価するなど、行政サービス水準の維持向上を図りながら、施設の運営管理コストの縮減・適正化など効率的な運営管理を推進する。</p>	<p>第3章 庁舎・学校等の施設に係る基本的な考え方と取組方針</p> <p>1 基本的な考え方 (略)</p> <p>2 施設管理の適正化に向けた取組方針 (略)</p> <p>(1) 点検・診断・維持管理等の適正化 (略)</p> <p>(2) 施設の長寿命化の推進</p> <p>(3) 防災基盤の整備 (略)</p> <p>(新設)</p> <p>(4) ユニバーサルデザイン¹⁵化の推進方針 (略)</p> <p>(5) 保全業務支援体制の構築 (略)</p> <p>(6) 施設の運営管理の適正化</p> <p>○ ベンチマーキング等を活用した運営管理コストの縮減を検討する。 ○ 省エネルギー機器の導入を検討する。 ○ PPP/PFI など民間活力の幅広い活用を検討する。</p> <p>施設の運営管理に係るコストを把握し、事業効果を評価するなど、行政サービス水準の維持向上を図りながら、施設の運営管理コストの縮減・適正化など効率的な運営管理を推進する。</p>

改定案	現行
<p>○ 施設間の比較分析 各施設における光熱水費や委託費等の実態を把握した上で、施設間の比較分析を行い、ベンチマーキング¹⁶等を活用した日常的な運営管理コストの縮減を検討する。</p> <p>○ 省エネルギー機器の導入検討 環境負荷の低減とともに、運営管理コストの縮減・適正化を図る<u>観点からも</u>、省エネルギー機器の導入を検討する。</p> <p>○ 民間活力の幅広い活用 施設の効果的な活用や運営管理を図るため、PPP/PFI¹⁷など民間活力の幅広い活用を検討する。</p> <p>3 (略)</p> <p>第4章 社会基盤施設等に係る基本的な考え方と取組方針</p> <p>1 基本的な考え方 県民生活や経済活動を継続的に支えていくためには、厳しい財政状況にあっても、必要な施設を適切かつ効率的に維持し、施設の安全・安心を確保することが重要な課題になる。 そこで、社会基盤施設等については、<u>庁舎・学校等の施設に係る基本的な考え方と取組方針を踏まえ</u>、施設ごとの特性に応じて<u>策定した</u>長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、予防保全など計画的な維持管理<u>等</u>を実施するとともに、中長期的な視点から施設総量の適正化にも配慮する。 なお、施設ごとの具体的な取組は、次のとおりである。</p> <p>2 (略)</p> <p>第5章 (略)</p>	<p>○ 施設間の比較分析 各施設における光熱水費や委託費等の実態を把握した上で、施設間の比較分析を行い、ベンチマーキング¹⁶等を活用した日常的な運営管理コストの縮減を検討する。</p> <p>○ 省エネルギー機器の導入検討 環境負荷の低減とともに、運営管理コストの縮減・適正化を図る<u>ため</u>、省エネルギー機器の導入を検討する。</p> <p>○ 民間活力の幅広い活用 施設の効果的な活用や運営管理を図るため、PPP/PFI¹⁷など民間活力の幅広い活用を検討する。</p> <p>3 (略)</p> <p>第4章 社会基盤施設等に係る基本的な考え方と取組方針</p> <p>1 基本的な考え方 県民生活や経済活動を継続的に支えていくためには、厳しい財政状況にあっても、必要な施設を適切かつ効率的に維持し、施設の安全・安心を確保することが重要な課題になる。 そこで、社会基盤施設等については、施設ごとの特性に応じて、<u>安全性の向上やコスト縮減に配慮した個別施設ごとの</u>長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、予防保全など計画的な維持管理を実施するとともに、中長期的な視点から施設総量の適正化にも配慮する。 なお、施設ごとの具体的な取組は、次のとおりである。</p> <p>2 (略)</p> <p>第5章 (略)</p>